

各位

2019年11月8日  
KNT-CTホールディングス株式会社  
総務広報部（広報）担当：岩本  
TEL：03-6863-0048

### 旅行取扱状況の概観（令和元年9月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト北海道、近畿日本ツーリスト東北、近畿日本ツーリスト関東、近畿日本ツーリスト首都圏、近畿日本ツーリスト中部、近畿日本ツーリスト関西、近畿日本ツーリスト中国四国、近畿日本ツーリスト九州、近畿日本ツーリストコーポレートビジネス、KNT-CT グローバルトラベル、KNT-CT ウェブトラベル、クラブツーリズム、ユナイテッドツアーズ、KNT 商事の合算額となります。

#### 記

海外旅行の取り扱い、一般団体は前年比 88.6%と前年を下回り、学生団体は同 82.0%と前年を下回り、団体旅行合計で同 86.8%と前年を下回った。企画旅行については前年比 101.6%と前年を上回り、個人旅行については同 98.9%と前年を下回った。

この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比 98.0%と前年を下回った。

国内旅行の取り扱い、一般団体は前年比 99.3%と前年を下回ったが、学生団体は同 101.4%と前年を上回り、団体旅行合計で同 100.3%と前年を上回った。企画旅行については前年比 101.9%と前年を上回り、個人旅行については同 95.2%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比 100.4%と前年を上回った。

外国人旅行は、前年比 190.4%と前年を大きく上回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の9月の総取扱額は前年比 104.4%となり、前年を上回った。

#### 【区分別の状況】

##### 1. 海外旅行

海外団体については、一般団体は、各種大会・会議などの取扱が増加したが、周年旅行などの取扱人数の減少により前年比 88.6%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数の減少や、専門学校などの研修旅行の取扱が減少したことにより、同 82.0%と前年を下回った。この結果、海外団体旅行合計で前年比 86.8%と前年を下回った。

海外企画旅行については、前年比 101.6%と前年を上回った。商品別では、ホリデイは方面別取扱人数の状況で、アメリカやアジア方面が不調であったが、ヨーロッパやオセアニア、ハワイ、ミクロネシア方面などが好調に推移した。クラブツーリズムは、ヨーロッパでは南欧（イタリア）、東地中海（トルコ）、北欧が好調であった。北米、オセアニアも堅調に推移している。一方で、カナダ、中国、アジア（香港、韓国）、東南アジア（マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア）は不調であった。

以上の結果、海外旅行の総取扱額としては、前年比 98.0%と前年を下回った。

##### 2. 外国人旅行

外国人旅行は、大型のスポーツイベントや国際会議などの取扱が増加したほか、レールパスの取扱増加などにより、前年比 190.4%と大きく前年を上回った。

##### 3. 国内旅行

国内団体については、一般団体は、スポーツイベントの取扱が増加した一方で、企業系コンベンションなどの取扱が減少したことにより、前年比 99.3%と前年を下回った。学生団体は、修学旅行の取扱人数が減少したが、研修旅行や各種大会の取扱人数が増加したことにより、同 101.4%と前年を上回った。この結果、国内団体旅行合計で前年比 100.3%と前年を上回った。

国内企画旅行については、前年比 101.9%と前年を上回った。商品別では、メイトは方面別取扱人数の状況において、東北や首都圏、北陸、九州、沖縄方面が不調であったが、北海道や東海、関西、中国方面などが好調に推移した。クラブツーリズムは、方面別では、北海道（道南、道東、道北）、東海・伊勢・南紀、関西（京都、滋賀）が堅調に推移している。一方で、山陰・山陽、四国、九州、沖縄、離島は不調であった。

以上の結果、国内旅行の総取扱額としては、前年比 100.4%と前年を上回った。

以上